

医療放射線防護連絡協議会 令和4年度医療放射線の安全利用講習会のお知らせ

今年も新型コロナウイルスの感染予防に配慮して全てオンライン開催します。

テーマは「医療法、電離則、RI法の改正への対応」です。

この講習会は、医療領域における放射線安全管理を関係者に正しく理解・認識してもらい、適正な診療放射線利用が合理的に行われることを目的として毎年開催致しています。

今回は、先般二つの医療放射線安全関連規則改正が施行され、医療現場で正しく実施するための対応について理解いただきます。とくに、放射線診療施設の立入検査や医療放射線従事者の被ばく管理、医療放射線安全教育の研修、患者さんへの医療被ばくの説明等について、紹介します。

なお、講習会を受講された方には、放射線安全教育の受講終了証を配布します（注：各施設に提出するとその年RI法及び医療法施行規則の放射線安全教育・研修が一部免除になります。IVR認定技師機構の更新認定点数も付与されます）。

また、開催詳細は当協議会ホームページで随時紹介します。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

HP:<http://jarpm.kenkyukai.jp/information>

○ 第73回（1回目）：

日時：令和4年10月1日（土）13:00～16:30（総合討論 15：20～16：30）

場所：オンライン開催（講演内容は後日WEB配信：視聴期間は11月13日から27日まで）

○ 第74回（2回目）：

日時：令和4年10月29日（土）13:00～16:30（総合討論 15：20～16：30）

場所：オンライン開催（講演内容は後日WEB配信：視聴期間は11月13日から27日まで）

プログラム：

1. 開催の挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）（10分）

2. 教育講演1：RI法の改正への対応の要点（30分）

原子力規制庁 担当官

3. 教育講演2：放射線診療施設の立入検査*東京都の場合*（30分）

小林 剛（東京都福祉保健局医療政策部医療安全課）

4. 講演1：（仮題）診療用放射線の安全利用のための教育用資料の作成

日本医学放射線学会の取り組み

井上 優介（北里大学病院放射線診断科/放射線部）

5. 講演2 : 説明を受ける患者側の希望

五十嵐昭子（NPO 法人支えあう会「α」）

6. 講演3. 水晶体被ばく低減への具体的取り組み

田口憲士（長崎大学 整形外科）

7. 総合討論

座長：菊地 透（医療放射線防護連絡協議会総務理事）

備 考

●申し込み方法

申し込みフォームを用いて、8月5日より受付開始します。下記の期日までに登録・振込を完了してください。

第73回（1回目）の事前参加登録は 9月17日(土) まで

第74回（2回目）の事前参加登録は 10月15日(土) まで

YouTube 視聴のみの事前参加登録は 10月30日（日）まで

原則として参加費振り込みもそれぞれの登録締め切り日までにお願います。

（期日までに参加費の振り込みができない場合は事務局までご連絡下さい）

なお、入金確認後、開催1週間前に要旨集を郵送し、その後オンラインのURLを連絡します。

◆参加費：3,500円（抄録の郵送代金・受講終了証明書を含む）

◆振込先：みずほ銀行駒込支店 普通 1383416 医療放射線防護連絡協議会

◆申込方法：下記よりお申し込みください。

◆申 込 先： <https://forms.gle/c1DmQtqVySAjZjC39>

FAX の場合は、確実にメールアドレスが読み取れるように記載をしてください。

◆申 込 先： 医療放射線防護連絡協議会 事務局

E-mail： jimusitu11@gmail.com

〒451-0041 愛知県名古屋市西区幅下1-5-17 大野ビル1階

Fax：052-526-5101 ☏：052-526-5100

HP： <http://jarpm.kenkyuukai.jp>